



かわちながの 働ライフ

KAWACHINAGANO HATA-LIFE

河内長野市で働く若者の仕事と暮らし

18

患者さんに寄り添う医療サービスを
三軒医院の堀切 靖正さん

三軒医院に入職して3年目、透析診療で臨床工学技士として勤務する堀切靖正さん。

医療現場で働くきっかけとなったのは、病院で働く親戚から、医療機器のスペシャリストである臨床工学技士の存在を覚えてもらったことでした。大学で学んだ機械工学の知識がいかせるのではと考え、卒業後は専門学校に通い資格を取得し同医院に入職。腎臓機能が低下した人の血液中の不純物を取り除き、きれいな

血液を体に戻す治療を担当しています。

治療では、血液を循環させるために穿刺(せんし)（血管に太い針を刺すこと）を行います。「使用する針は太いですし、血管の太さや深さは人によって違うので神経を使います。初めは怖さもありましたが、先輩のフォローや患者さんの励ましのおかげで少しずつ慣れてきました」と話す堀切さん。また、透析は1回4時間の治療を週に3回行う必要があ

り、患者さんには大きな負担です。少しでも不安を取り除き快適に過ごせるよう、スムーズな穿刺や、一人ひとりの様子の変化に気づき、声をかけるなど丁寧な対応を心がけています。「最近では“あなたが来てくれてよかった”“安心できる”と言ってもらえるようになり、やりがいを感じています。今後も患者さんのために経験を積み、知識や技術を習得して頼られる存在になりたいです」と優しい口調で語ってくれました。



取材協力

医療法人 三軒医院
寿町3-46 (☎ 52-2252)
<http://www.sangeniin.or.jp>

1986年に泌尿器科専門医院として開院。常に最新の設備を導入することによって、泌尿器科、皮膚科、人工透析診療のより充実した医療を提供し、地域医療に貢献しています。今後も患者さまに満足していただける医院を目指します。



日々学んだことをノートに整理し仕事に活かしています



車にバイク、運転することが好き

父の影響で、小さいころから車やバイクが大好きです。休日は車でドライブ、バイクでツーリングを楽しんでいます。学生のころは西日本を一周したり、四国ではオフロードの道などいろいろなところを走りました。最近は和歌山や奈良方面の温泉などによく行きます。思い返すと小学生のころも友だちと自転車で岩湧山や滝畑ダムまで遠出していました。これからも安全運転でカーライフを楽しみたいです。

